

# 尾道郷心会

— 会員様の笑顔をつくりたい —

KYOSHINKAI  
ONOMICHI

No.57



2023年、  
尾道郷心会 発足30周年



「ふるさと広島を愛し、郷土産業を育てる会」として広島で発足した郷心会は「広島県内製品の愛用運動」BYUひろしまをテーマに日々活動しています。1993年に「尾道郷心会」は県下6番目の郷心会として設立されました。185会員でスタートした尾道郷心会も、商工会議所また皆様のご協力のもと、現在は308会員様（2月末時点）で構成されています。これからも「尾道を元気に!!」活気のある尾道を「」を合言葉に活動して参ります。今後とも尾道郷心会への支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 会員様互助企画

会員商品サービス利用  
促進商品券プレゼント

コロナ禍の会員相互のご利用ご支援事業として「尾道郷心会互助企画」を3年度連続で実施いたしました。昨年に引き続き会員様の店舗や施設等のご利用に対し、5,000円以上の領収書写しの提出にてJCBギフトカードなどの商品券を進呈いたしました。企画内容も会員の皆様に着目してきただけでなく、ご協力いただいた会員様も増え、互助合計金額も222万円となり昨年度を上回る結果となりました。互助にご協力いただき誠にありがとうございました。



## 「ショールームでお待ちしております」

【新店長ごあいさつ】

アンフィニ広島 東尾道店  
店長 岡田 英希さん



平成11年にメカニックとして入社された後、3年目からフロント業務に転向、備後地区の東尾道店と蔵王店の両方で入庫されるお客様の窓口として業務に当たられてきました。これまではサービス責任者として注力して来ましたが、これからは店長としてお店全体を引っ張って行きたい、という言葉に張り合いが満ち溢れておられるようです。長年のお客様との絆を大切にしているアットホームさが東尾道店の特徴とおっしゃいますが、「どんな変化している東尾道の立地条件を活かして、お客様連れのご家族など新しいお客様にも気軽に立ち寄って頂けるお店作りを目指していきたい」とも。そのためには働いているスタッフ自身も通うのが楽しくなり、みんなが気持ちよくお客様をお迎えできる店にしたいと笑顔で夢を語って下さいました。

尾道市東尾道19-19  
TEL (0848) 461-3500  
営業時間 9時～18時  
定休日 毎週火曜・第2水曜日



アンフィニ広島 東尾道店様URL

広島マツダ 尾道山波店  
店長 高垣 健次郎さん



平成4年入社し14年間メカニックとして活躍後、営業職に抜擢、この度新店長に就任されるまでは、営業のリーダー、店長の右腕として活動して来られた高垣店長。尾道出身で地元のお客様のライフスタイルも把握されています。「お車を私達からご購入頂いた方には、納車後も安心して任せていただけるアフターフォローが何より大切です。自分の経験から大切なクルマを扱わせて頂く現場のメカニックの大変さも理解しているつもりです。営業、メカニックが互いにスムーズに意思疎通をしながら、お客様のカーライフをサポートできるよう、お店全体を見て行くつもりです。新しい業務も増え大変な時期ですが、これまで担当されていたお客様からの「店長就任おめでとう。これからも頑張ってください」という言葉を励みに日々奮闘されておられます。

尾道市山波町20-1  
TEL (0848) 461-0211  
通常営業時間 ショールーム(9時～19時)  
サービス受付 9時～18時 / 定休日 火曜日



広島マツダ 尾道山波店様URL

## 会員様ご紹介

丸善製薬株式会社  
新尾道工場 第一生産課  
田宮 歩夢様

## 活動報告

「尾道郷心会 発足30周年」  
「尾道市子どもの居場所づくりネットワーク様への支援をマツダ(株)に依頼」  
「会員様互助企画」

## ディーラー紹介

アンフィニ広島 東尾道店 店長 岡田 英希さん  
広島マツダ 尾道山波店 店長 高垣 健次郎さん



会員様の笑顔をつくりたい  
— 尾道郷心会 —



尾道郷心会URL



マツダ株式会社 URL



村上アーカイブス URL

# 【尾道郷心会・会員様紹介】

丸善製薬株式会社

新尾道工場 第一生産課

## 田宮歩夢様

地元「尾道」を大切に、  
世界を見据える地元企業

「甘草エキスの製造」を原点とし、昭和13年(1938)の創業以来、発祥の地・尾道に根差しながらも現在では世界と繋がる事業を展開されている丸善製薬様。企業としての実績だけでなく、SDGs活動が当たり前になりつつある現代の随分前から、尾道における様々な文化活動にも厚いサポートをしております。

地元の皆さんがよくご存じの「しまなみウォーター」や「黄杞茶」は商品のほんの一部で、丸善製薬様の主流の「製食品」は、植物など天然由来のものから抽出されたエキス。国内だけでなく世界中の医薬品・化粧品・食品などの製品に原料として使用されています。私たちが直接目にするには無くても、日常になくしてはならない身近な商品に、それらの製食品は使われているのです。

甘草に限らず世界中の植物を扱い抽出されるエキスは「少量／多品種」。製食品になると何と1,000種を数えるそうです。創業以来のオリジナリティ、独自技術を活かし、取引先様それぞれのニーズに細やかに対応える対応力と品質への自信を展開しております。



尾道でおなじみの「しまなみウォーター」や「黄杞茶」

### 一途な思いで携わる

今回は、新尾道工場で、植物エキスのろ過及び充てん作業に携わっております4月で入社3年目に突入の田宮さんにお話しを伺いました。

就職活動時に、丸善製薬様に興味を持たれ、「求人を引っぱり張って来て欲しい」と先生にお願いに行かれたというエピソードがあります。「憧れていること、興味のあること」に、まっすぐな姿勢をされています。

初々しい雰囲気に残る田宮さんが乗られている車は、社会人になって初めて自分で購入された新型CX-5。生活にクルマが必須の地域にお住まいのため、SUUVに憧れていたそうです。地元の方先輩がマツダ社員ということでお勧めもあり、情報をとことん調べ、「ディーラーで見たCX-5にまさに「目ぼれ」でした。ご家族には大きな車だから絶対ぶつけると反対されたそうですが「それでも乗りたい！」という思いで、一番上のグレードを手に入れたそうです。



少量多品種生産を取る新尾道工場には、多数の抽出器、濃縮器、ろ過器が設置されお客様の様々なご要望に応えられています。



田宮さんがお勤めの新尾道工場(尾道流通団地内)



車に乗る楽しさが、お仕事や生活もよりアクティブに

納車後ぶつけていませんか？と尋ねると「まだです(笑)」とのこと。取材に同席して下さった上司の方の「好きな車に乗ったら大事にしたいよね」という言葉に一同深く頷きました。雪も多いエリアから通勤されている田宮さんにとって、シートやハンドルにビーターのある愛車は快適そのもの。外見やインテリアなどお気に入りの理由は沢山ありますが「このクルマの為に頑張らない」と日々のお仕事にもハリが出て来たり、休日にも「行ける所まで走ってみよう」と生活にアクティブな変化が起きたそうです。インテリアを終え勤務用の帽子をかぶり工場に駆けて戻る後ろ姿にとても清々しさを感じました。

## 丸善製薬株式会社

〒722-0062  
尾道市向東町14703-10(本社)  
TEL：0848-44-2200  
FAX：0848-20-6006



丸善製薬株式会社様  
公式ホームページQR



細部にも自分だけのこだわりが。

## 尾道郷心会 活動報告

### 尾道市子ども居場所づくりネットワーク様への 支援をマツダ(株)に依頼

近年「フードドライブ」という言葉を耳にされる方も大勢いらつしやるのではないのでしょうか？これは、まだ食べられる期限があるにも関わらずご家庭や企業で活用されていない食料を、職場などに持ち寄り、地域の福祉団体や施設などに寄付する社会貢献活動です。この度、マツダ(株)と関連会社4社で行われたフードドライブ活動にコラボして頂き、2月10日に、広島からたくさんのお菓子を尾道に届けて頂きました。

マツダ(株)コーポレート業務本部総

務部地域リレーショングループの石橋さん、植松さんと、尾道市役所の子育て支援課の田坂さん・細谷さんや、子ども居場所づくりネットワークの林原センター長、笹井さんと、尾道で困りごとを抱えているご家庭や子どもさんに対するサポート活動について、活発な意見交換が行われました。届けられたお菓子は「子ども居場所づくりネットワーク」様を通して、地域ぐるみで子どもたちのサポートに携わっていただける各活動団体などに届けられます。



もしお手元に余っている食料がございましたら、ぜひ事務局までご連絡下さい。